

令和4年度1月日田市実施分学力調査の結果について

1 調査の概要

(1) 実施期日

令和5年1月13日（金）

(2) 調査対象学年

小学校全学年 中学校1・2年生

(3) 調査内容と受験者数

【小学校】

	国語	社会	算数	理科
1年	467		469	
2年	459		459	
3年	437		436	
4年	502	501	503	502
5年	488	486	485	486
6年	555	555	555	555

(単位：人)

【中学校】

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	468	470	467	470	472
2年	491	491	491	491	491

(単位：人)

(4) 用語の説明

◇正答率：全設問に対して児童生徒が正答した割合（集団の場合は平均値）。

◇全国比：全国の平均正答率を100とみたときの日田市の割合。

◇標準スコア（偏差値）：全国の正答率を50とみたときの日田市の平均正答率の換算値。

2 令和4年度調査結果の概要

※表の各学年の下段「R3標準スコア」は、同一集団の昨年度の数値

(例 【小学校2年生】 上段：今年度の数値 下段：現小2の小学校1年生時の数値)

【小学校】 ※色付き部分は全国値以上

学年	1年生		2年生		3年生		4年生			
教科	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	社会	算数	理科
R4標準スコア	51	52	50	51	50	52	51	52	51	49
R3標準スコア			52	54	50	51	49		52	

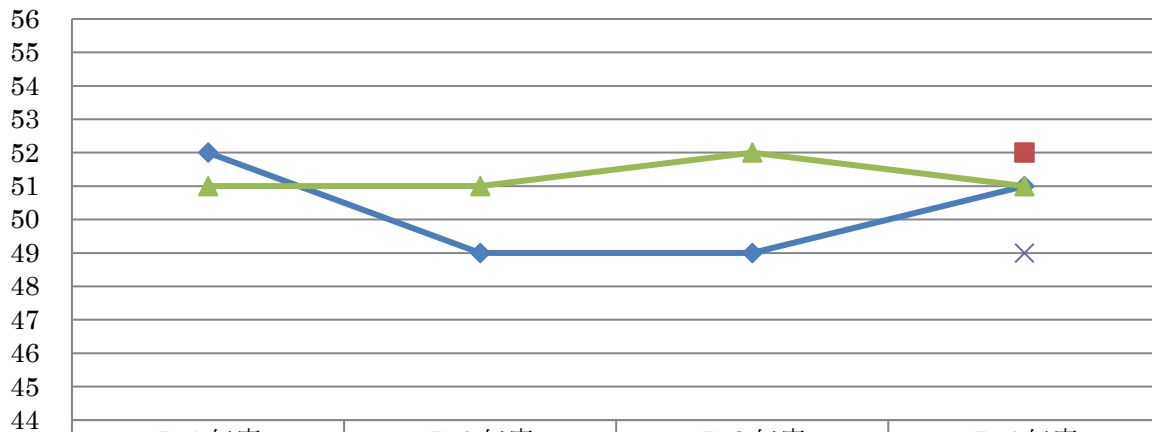
学年	5年生				6年生			
教科	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科
R4標準スコア	53	50	52	50	49	51	52	49
R3標準スコア	50	50	52	48	50	48	52	50

【中学校】 ※色付き部分は全国値以上

学年	1年生					2年生				
教科	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
R4標準スコア	50	50	51	50	47	50	51	48	48	46
R3標準スコア	50	48	52	51		50	51	50	51	49

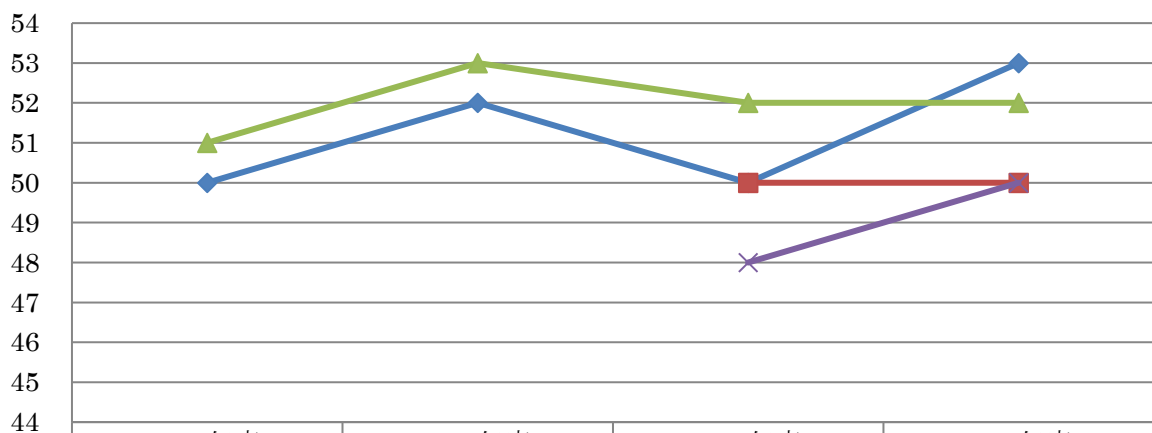
3 標準スコアの推移（同一集団経年変化）

小学校 4 年生



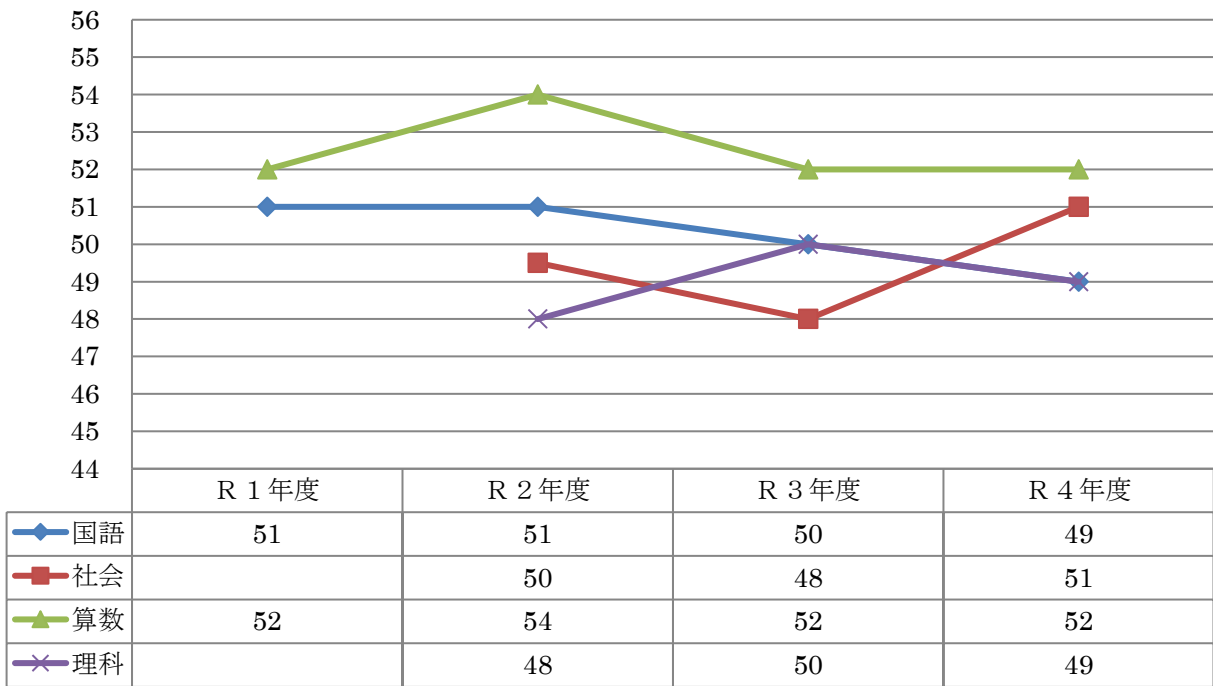
	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
◆国語	52	49	49	51
■社会				52
▲算数	51	51	52	51
×理科				49

小学校 5 年生

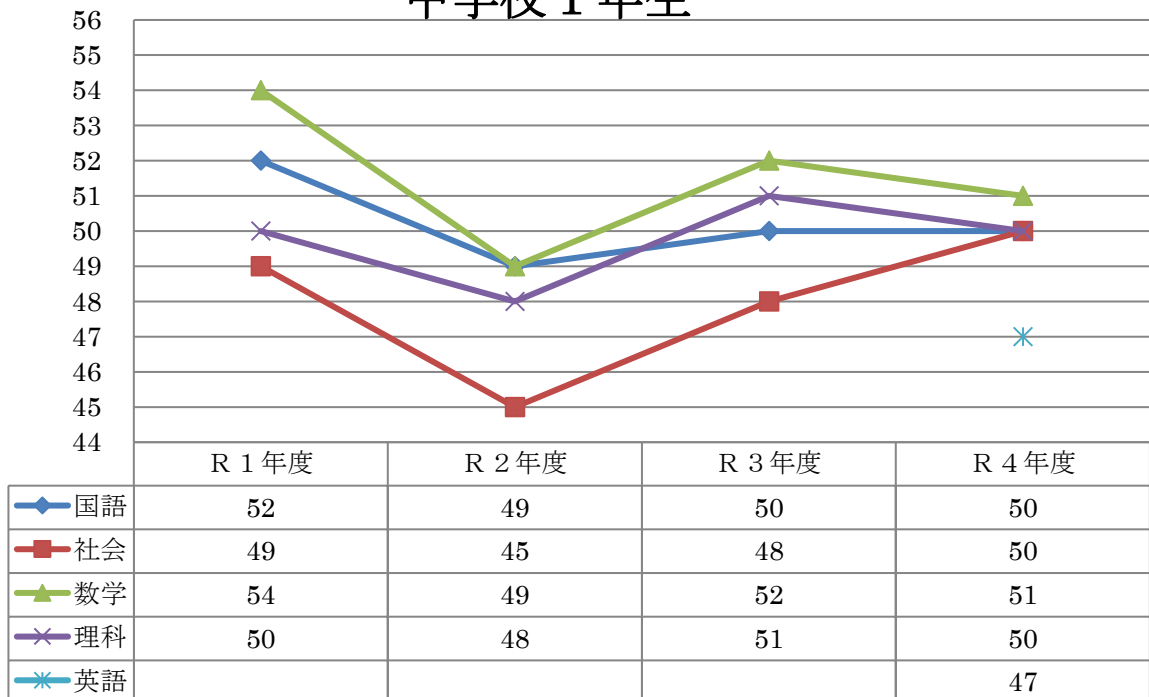


	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
◆国語	50	52	50	53
■社会			50	50
▲算数	51	53	52	52
×理科			48	50

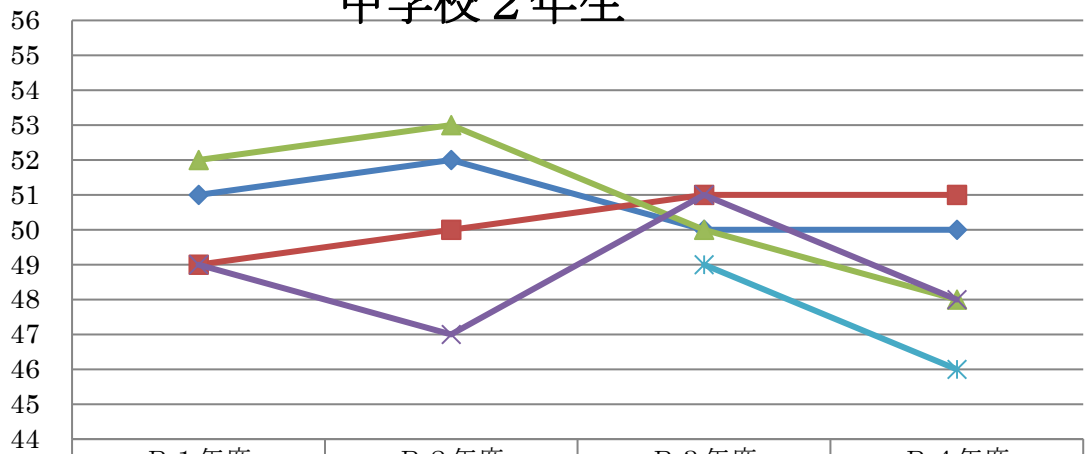
小学校6年生



中学校1年生



中学校 2 年生



	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
◆ 国語	51	52	50	50
■ 社会	49	50	51	51
▲ 数学	52	53	50	48
× 理科	49	47	51	48
✧ 英語			49	46

4 現状と分析

【小学校】

<現状>

(1) 結果

- 標準スコアは、〔1年国語・算数〕〔2年算数〕〔3国語・算数〕〔4年国語・社会・算数〕〔5年国語・算数・理科〕〔6年社会・算数〕で全国値以上。
- 平均正答率は、〔1年国語・算数〕〔2年算数〕〔3年算数〕〔4年国語・社会・算数〕〔5年国語・算数〕〔6年社会・算数〕で全国値以上。
- 目標値は、〔5年社会〕を除く全ての教科で上回った。

(2) 成果・課題の見られた問題内容

	教科	成果	課題
1年	国語	説明文を読み取る 文章を書く	聞いたことをもとに発表する
	算数	ひき算（文章問題）3つの数の計算 長さ・かさ	
2年	国語	文章を書く	話し合いをもとに発表する
	算数	かけ算	たし算（結合法則）
3年	国語	話の内容を聞き取る 文章を書く	話し合いをもとに招待状を書く
	算数	10000より大きい数 わり算 長さ 時刻と時間	
4年	国語	漢字を読む 文章を書く	
	社会	自然災害からくらしを守るー地震	ごみの処理と利用（資料をもとに判断）
	算数	角の大きさ 簡単な場合についての割合	小数の加法を整数の加法に直して処理する方法の説明
	理科	雨水の行方と地面の様子	天気の様子と気温（根拠のある予想を立てる）
5年	国語	漢字を読む・書く 物語の内容を読み取る 文章を書く	
	社会	あたたかい土地の暮らし	日本の水産業 自動車をつくる工業 世界の中の国土
	算数	小数のかけ算・わり算 体積	平均 単位量当たりの大きさ（式の理解と説明）
	理科	天気の変化	けんぴ鏡の使い方
6年	国語	インタビューの内容を聞き取る 文章を書く	説明文（情報と情報の関係を理解し文章の情報を整理）
	社会	日本国憲法	今に伝わる室町文化 明治維新
	算数	分数のかけ算・わり算 文字と式 比と比の値	
	理科	大地のつくりと変化	月と太陽

<分析>

- 全学年おおむね12月までの学習内容の定着ができています。
- 国語は全学年で「文章を書く」が全国平均を上回っており、日記や作文における日々の指導の成果が見られる。
- 算数は全学年で全国平均を上回った。しかし、同一集団の標準スコアの推移を見ると、4つの学年で令和3年度の数値を下回っており、そのすべてで「基礎の定着状況が落ちていることから、練習問題に取り組む時間を授業時間内に確保するなどの対策が望まれる。
- 全国平均を下回った5年社会では資料やグラフを読み取ることに課題が見られた。
- 全国平均を下回った4年の理科では記録温度計の記録からその日の天気を予測し根拠を示す問題、6年の理科では地球と月と太陽の位置関係と地球から見える月の形を考える問題で正答率が低い

ことから、動画コンテンツを活用するなど定着に向けた工夫を講じる必要がある。

○ほとんどの学年・教科で「活用」の標準スコアが50を上回っているもしくはほぼ同等であることから、思考力・判断力・表現力等の育成を目指した授業改善が進められていると考えられる。

【中学校】

<現状>

(1) 結果

- 標準スコアは、〔1年国語・数学・理科〕〔2年国語・社会〕で全国値以上。
- 平均正答率は、〔1年国語・数学・理科〕〔2年社会〕で全国値以上。
- 目標値は、〔1年国語・社会・理科〕〔2年国語〕で上回った。

(2) 課題のあった問題内容

	教科	成果	課題
1 年	国語	文法・語句に関する事項 文章を書く	
	社会	古墳時代まで	日本の姿 世界の諸地域
	数学	文字式 平面図形	1次方程式 比例・反比例(活用) 文字式(活用)
	理科	植物の分類 動物の分類	物質の状態変化 光の性質
	英語	語彙の知識・理解	場面に応じて書く英作文 語形・語法の知識・理解
2 年	国語	文章を書く	
	社会	日本の諸地域	資料を読み取り考察する問題全般(活用)
	数学	式と計算	連立方程式 1次関数 図形の性質 証明 式の計算(活用)
	理科	生物と細胞	化学変化 植物のからだとはたらき
	英語		3文以上の英作文 語形・語法の知識・理解

<分析>

- 国語は5年連続で1, 2年生とも標準スコアが全国平均を上回っており、安定した状況が続いている。特に「書くこと」についての力が定着している。
- 社会は1, 2年生とも、「基礎」が前年度を上回っており、知識を定着させるための工夫や改善が図られていることが考えられる。
- 1年生の数学, 理科では「基礎」, 「知識・技能」において標準スコアが50程度もしくは上回っており、基礎・基本の学習内容が定着している。
- 1年生の英語, 2年生の数学, 理科, 英語では「基礎」「活用」や3つの観点のほとんどの項目で標準スコアが50を下回っていることから、単元計画の作成と1時間ごとに付けたい資質・能力を明確にした授業の推進がさらに必要と考えられる。

5 今後の取組

(1) 当該学年での学習内容の年度内での確実な定着を図るための取組

- 各学校は「市学力調査結果の分析による具体的改善策」を作成し、改善策（授業改善・補充学習・家庭学習）に基づき、年度内に定着が不十分な単元や領域について補充の学習を行う。
- A I ドリル，フォローアップシート，（中学校）問題データベースを活用し，個に応じた補充学習を行う。
- 補充した力が身に付いているかの検証や改善のために，全国調査の過去問等を活用する。
- 春休みの宿題については，各学年の一通りの学習内容と併せて，各種学力調査（全国・県・市）結果の課題における年度末までの改善が十分でない学習内容について課す。

(2) 令和4年度日田市学力向上の取組（R4.4月作成）の継続

【付きたい力を意識した密度の濃い授業への改善】

（特に重点的に行うこと）

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進。
 - ・「1時間完結型」授業の質の向上により、「児童生徒の学びに向かう力」「基礎的・基本的な知識・技能の定着」「思考力・判断力・表現力等の向上」を図ること。
- 単元計画の作成による資質・能力の確実な育成
 - ・知識・技能の定着を図る時間を単元の中で計画的に設定する。
- ねらいと連動した具体的な評価規準の設定

【学習定着状況の確実な把握】

- 授業と連動した家庭学習・テスト（評価）の実施による，学習内容の定着および定着状況の把握・フォロー。

【補充学習】

- 付きたい力の定着・向上に効果的な補充学習および個別指導の実施。